

“安倍政治サヨナラ”の年に

共闘勝利+共産党躍進で

今年統一地方選挙と参議院選挙の年。ウソと隠れいが極まった安倍政治にサヨナラするチャンスです。カギは野党の共闘の成否です。



討論する6野党・1会派の書記局長・幹事長=18年11月28日

すみやかに野党協議の開始を

●昨年は沖縄県知事選挙に勝利し、9条改憲を阻止しました。「共闘の力」です。他方、安倍政権は国会で強行採決を繰り返し、森友「公文書」改ざんなど政治モラルを崩壊させました。強権とウソに頼るしかない、安倍政権の破たんの表れです。

●野党が「本気の共闘」を組めば、安倍政権は倒せます。昨年、

共産、立憲民主、国民民主、自由、社民、無所属の6野党・会派の代表が集まった場で「全国32の参院1人区で野党候補の一本化」を確認。共産党はこれを踏まえ、速やかに具体化のための協議開始を呼び掛けます。

●野党共闘の勝利と日本共産党躍進で新しい政治を切り開くため全力をあげます。

参議院 比例代表は **日本共産党** と 政党名で 制度解説

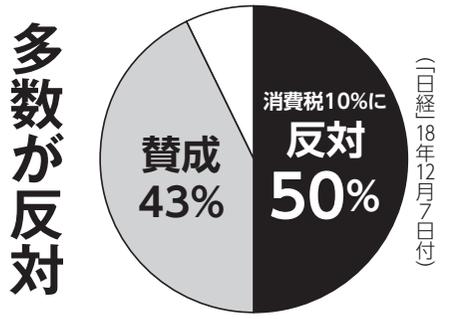
「全国はひとつ」参院比例代表で7議席をめざします



ちょっと待った!! 消費税10% こんな時に10月実施?!

今こそ声をあげよう

安倍首相が表明した10月の消費税率10%。景気が落ち込み、大混乱は必至。ストップへ声を。



財源はある

大企業にせめて 中小企業並みの 法人税率	4兆円
大株主優遇税制の是正	1.2兆円

日本共産党

「あなたの懐は潤っていますか?」
—消費税8%への増税(2014年)で個人消費は急落し、今なお低迷。こんな時に10%増税なんて…世論調査でも半数が反対です。

財源というなら、これまで優遇され、ばく大なもうけを上げている大企業やカルロス・ゴーン前日産自動車会長のような富裕層に応分の負担を求めれば、10%増税分の4兆6,000億円はクリアできます。

セブン・イレブン名誉顧問も内閣官房参与も

セブン&アイ・ホールディングス名誉顧問・鈴木敏文氏 「いまのタイミングで消費税を上げたら、間違いなく消費は冷え込んでしまうでしょう」(『文芸春秋』1月号)

内閣官房参与(当時)・藤井聡京都大学大学院教授 「10%への消費税率引き上げは日本経済を破壊する」(『しんぶん赤旗』日曜版18年11月18日号)